

研究・調査報告書

報告書番号	担当
593	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Racial differences in the relationship between alcohol consumption in early adulthood and occupational attainment at midlife. 成人早期からの飲酒と中年期の職業上の到達点との関連における人種間の相違について	
執筆者	
Sloan FA, Malone PS, Kertesz SG, Wang Y, Costanzo PR.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Public Health. 2009;99(12):2261-7.	
キーワード	
飲酒、人種、成人若年、職業上の成功	
要旨	
目的： 白人と黒人との間で、成人若年期（18 から 30 歳）における飲酒と 15 年後の職業上の成功との関連について、評価を行った。	
方法： Coronary Artery Risk Development in Young Adult Study より、ベースラインから 15 年時点の雇用状態および職業地位を分析した。主な予測因子はベースライン時の週当たりの飲酒量であり、人種で層別化を行い、社会経済学的な因子で調整を行った。	
結果： 成人早期の飲酒と中年期の職業上の地位との関連について、人種間での相違を認めた。ベースライン時に週に 4 回以上飲酒する大酒家の黒人は、機会飲酒の黒人よりも、15 年時点で 4 倍以上雇用されていなかった（オッズ比 OR= 4.34; 95%信頼区間 CI= 2.22, 8.47）。白人では統計学的有意差は認めなかった。中年期の職業上の地位については過度の飲酒と負の関連を認めたが、結婚状況、能動的対処、生活ストレス、および学歴で調整後は、この関係は黒人のみで統計学的に有意であった。	
結論： 成人若年期の過度の飲酒は、特に黒人において、中年期の職業上の成功と負の関連があった。	